



～歴史から学ぶ～ 名東区災害の歴史

発行／問合せ先 名東区役所区政部総務課 名古屋市長東区上社二丁目50番地 ☎052-778-3013

名東区は名古屋市の東部丘陵地に位置し、名古屋市南部や西部と比べると一般的に災害の少ない地域であると言われていますが、過去には予想もしていなかった風水害による大きな被害が発生したことがありました。

過去に起こった災害を教訓とし、日頃から災害に対する備えを万全にしましょう。

名東区の近年の主な風水害の状況

災害名	発生日月	最大降水量		主な被害
		(1時間)	(24時間)	
① 昭和58年 台風10号集中豪雨	昭和58年9月28日	72.5ミリ	185ミリ	丘陵地に鉄砲水、床上浸水7世帯、床下浸水190世帯等
平成3年 台風17号～19号連続上陸	平成3年9月12日 ～28日	62ミリ(19日)	231.5ミリ (史上3位)	香流川堤防が一部崩壊
② 東海豪雨	平成12年9月11日	97ミリ(史上1位)	534.5ミリ(史上1位)	名古屋市内の37%が浸水
平成20年 8月末豪雨	平成20年8月28日 ～29日	84ミリ (29日・史上3位)	193ミリ	住宅一部損壊1棟 床下浸水1棟
平成23年 台風15号及び秋雨前線豪雨	平成23年9月20日	45.5ミリ	223.5ミリ	軽傷者1名 床下浸水3棟

(注)降水量は、明治23年7月から平成28年12月までの約126年間の統計による(気象庁)

① 昭和58年 台風10号集中豪雨 なぜ？あんなところで ～丘陵地に鉄砲水～

1983(昭和58)年9月28日、台風10号の影響を受け活性化した秋雨前線が突発的な集中豪雨をもたらしました。大雨洪水警報発令から30分足らずで、排水能力を超える1時間あたり72.5ミリの記録的な豪雨となり、いたるところで浸水被害が発生しました。

水害の危険性が少ないと考えられていた東部丘陵地域で被害が多発し、道路にあふれた水が坂道流れ、鉄砲水となって被害が発生し、小・中学校の下校時刻と重なったため市内で4人もの尊い命が失われました。集中豪雨の危険性を改めて認識させられる災害となりました。

(名東区内の被害) 床上浸水7世帯、床下浸水190世帯等



写真：下坪交差点付近(昭和58年9月29日 朝日新聞)

② 東海豪雨 観測史上最大の降水量 ～市内の37%が浸水～

2000(平成12)年9月11日から12日にかけて、東海地方を襲った集中豪雨は、秋雨前線に台風の温かく湿った気流が流れ込んだことにより発生し、名古屋市では1時間で最大97ミリの雨が降り、24時間降水量は534.5ミリといずれも観測史上最も高い値を記録しました。また、排水能力を超えた雨により西区を中心に低地が冠水し、市内の37%で内水・外水氾濫が発生しました。

名東区では植園町1丁目ではがけ崩れが発生し、藤森西町及び香流二丁目・三丁目では香流川左岸堤防の表法面が崩壊するなど大きな被害をもたらしました。



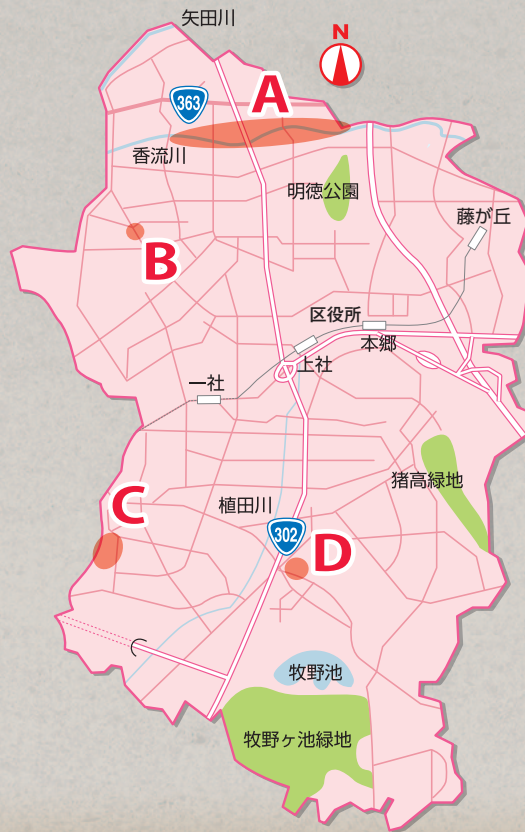
写真：藤森橋付近(平成12年9月23日号 名東ホームニュース)

災害から身を守るために備えをしましょう

- 自助のため、家具の転倒防止をしましょう
- 緊急時の家族の連絡方法を話し合っておきましょう(家族防災会議)
- 備蓄品の準備・点検をふだんからしましょう

大災害が発生すると、大勢の人が避難所に避難することが考えられますが、避難所の収容可能人員も限りがあり、避難所生活は環境の変化とともに身体的にも多くの負担がかかることが想定されます。また、避難所には十分な数量の備蓄物資がありません。そこで、災害時に避難所生活を送るよりも、自宅の安全が十分確保できるのであれば、なるべく自宅で避難生活を続ける**在宅避難**ができるよう、食料品・飲料水・日用品などを家族人数×7日分、備蓄することが大切です。賞味期限等の確認と品物の入れ替えを定期的に行いましょう。また、万が一の断水に備えて、お風呂に水を貯めておくことを習慣にすると、断水時に水洗トイレの使用に支障がありません。

名東区における主な風水害の被害地域



B 昭和58年台風10号
集中豪雨
猪子石小坂
(現・八前二丁目)
鉄砲水被害

A 平成12年東海豪雨
香流川左岸堤防
表法面の崩壊

C 昭和58年台風10号
集中豪雨
平成12年東海豪雨
植園町1丁目
がけ崩れ

D 昭和58年台風10号
集中豪雨
高針北島
(現・高針一丁目)
濁流被害

地震に対する備えの必要性

名東区は名古屋市の東部丘陵地に位置し、比較的地盤も強い地域といわれ、海からも離れており海拔も高い(区役所の位置で海拔44m)ため、地震に伴う津波の心配はほとんどありません。

しかしながら、本市が平成26年2月に公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」では、名東区においても最大震度6強が想定されています。家具の転倒防止や備蓄物資などの備えが必要です。

名東区の属する地域の主な地震災害年表

発生年月日	地震名	地震の規模	種別
1707(宝永4)年10月28日	宝永地震	M8.6	南海トラフ
1854(嘉永7)年12月23日・24日	安政東海・安政南海地震	M8.4	南海トラフ
1891(明治24)年10月28日	濃尾地震	M8.0	内陸型
1944(昭和19)年12月7日	東南海地震	M7.9	南海トラフ
1945(昭和20)年1月13日	三河地震	M6.8	内陸型
1946(昭和21)年12月21日	南海地震	M8.0	南海トラフ

(参考) 近年の主な地震災害

発生年月日	地震名	地震の規模
1995(平成7)年1月17日	兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)	M7.3
2011(平成23)年3月11日	東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	M9.0
2016(平成28)年4月14日～16日	熊本地震	M7.3

★主な参考文献

- 名古屋市(1984)『昭和58年9月28日集中豪雨に関する記録』
- 名古屋市(2001)『東海豪雨水害に関する記録』
- 気象庁「観測史上1～10位の値(年間を通じての値)」
気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) (2016年12月現在)
- 愛知県(1993)『愛知県災害誌(昭和56年～平成3年 編)』
- 小林元(1988)『猪高村物語 一名東区の今昔一』
- 猪高村誌編集委員会(1959)『猪高村誌』
- 名東区区制20周年記念事業実行委員会(1995)『名東区制20周年記念誌』

★各機関の災害資料や地図などを気軽に活用しましょう！

- 名東図書館 名東区文教台二丁目205番地 tel:052-773-8200
- 鶴舞中央図書館 昭和区鶴舞一丁目1番155号 tel:052-741-9822
- 名古屋都市センターまちづくりライブラリー
中区金山町一丁目1番1号 tel:052-678-2212
- 港防災センター 港区港明一丁目12番20号 tel:052-651-1100